



ブラインドメーカーの生産速度を向上する 赤外線ユニット

英国の大手ブラインドメーカーであるLiving Connections社のチェサム工場では、赤外線の予熱システムの導入により、生産のボトルネックとなっていた問題を解決し、ライン速度を大幅に向上させました。同社のブラインドは、英国およびヨーロッパの大手小売店グループ、DIYショップ、通信販売などに供給されています。製品の種類は、ローラーブラインド、パーチカルブラインド、ローマンブラインド、天窓用ブラインド、プリーツブラインド、コンサバトリーブラインドなど多岐にわたっています。ブラインドの製造には、捺染、コーティング、ラミネート、プリーツ加工、金属加工、プレス加工、プラスチック射出成形、押出成形など、さまざまな工程があります。一部のブラインド用のテキスタイルカラーコーティングは、ドクターブレードを使って生地の上に樹脂染料を塗布した後、ガス式のテンターに通して160℃で硬化させています。(テンターとは、繊維産業で広く使用されている乾燥または硬化炉で、通過する布に張力をかけながら温風で乾燥・硬化させます。) 縦型ブラインドに使われるような厚手の生地の場合は、生地の反対側にもコーティングや硬化の工程を繰り返し行います。しかし、テンターのライン速度は12m/minに制限されており、生産量に限界がありました。

試行錯誤の結果、赤外線で生地を予熱すると問題が解決することが分かりました。その結果、ヘルス社製の30kW中波長赤外線ユニットがテンターの直前に設置されました。1本が5kWタイプの赤外線ヒーターを6本搭載したもので、加熱長さは2mで、あらゆるウェブ幅に対応するものです。

この予熱ユニットによって、ウェブの速度が18m/minに向上し、ボトルネックの問題が解消されました。今回、導入が成功したことで、ヒーターの入っていない2台目のユニットも設置され、将来的な需要の増加にもすぐに対応できるようになりました。



特徴

- 30kWの中波長赤外線ヒーター
- 予熱によるボトルネックの改善

テクニカルデータ

- 赤外線ヒーター種類：中波長赤外線ヒーター
- ファブリック製シェードの樹脂染料の乾燥
- 赤外線ヒーター
 - 1本 5kW、2mの赤外線ヒーターを6本搭載
 - パイロメーター制御、オペレーターへのリモートインディケーター付き

ヘルス株式会社

東京本社

ノーブルライト事業部 営業部

〒112-0012

東京都文京区大塚 2-9-3

住友不動産音羽ビル 2F

Tel: (03) 6902-6601

Fax: (03) 6902-6613

jp.hkk@heraeus.com

<http://www.heraeus-noblelight.jp>

名古屋営業所

〒465-0095

愛知県名古屋市名東区高社

一丁目89 第二東昭ビル3階B

Tel: (052)725-9120

Fax: (052)725-9121